

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	石山 満
発言の会議	平成28年 2月25日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長、教育長

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 平成28年度予算について

- (1) 投資と財政規律のバランスについて
- (2) 第2次実施計画と創生総合戦略の予算配分について
- (3) 創生総合戦略が第2次実施計画を補完しているにすぎない重点投資になっているとする考えへの所見について

#### 2 「市内経済の活性化を図り雇用を創出する」について

- (1) 観光に焦点を当てた産業振興について
  - ア 観光立市推進条例の戦略的な位置づけについて
  - イ ヒト・モノ・カネの好循環を三浦半島経済に取り込む仕掛けづくりに対する基本認識について
  - ウ 三方を海に囲まれた特性を最大限に生かした産業振興策の可能性に対する現状認識について
  - エ 昨年11月に開催された横須賀港久里浜地区ポートセミナーの実施報告に対する市長の総括について

オ 宮崎県日向市との新たな航路開拓の可能性と今後の交流促進について

カ 東京湾内における横須賀港の優位性と首都圏観光地へのアクセス拠点としての利便性を生かし観光の視点からインバウンドのマーケティングを意識した港湾の活用を検討する必要性について

キ 旧軍港4市の「シリアル型」ストーリーの中で本市の独自性を展開する方法について

ク 近代化産業の歴史的原点である浦賀奉行所の復元について

ケ 市の責務として浦賀奉行所の復元に取り組む姿勢を示す必要性について

### 3 「定住を促す魅力的な都市環境をつくる」について

#### (1) 地域公共交通について

ア 地域公共交通ガイドライン検討議論の中で民間事業者がコミュニティバスのニーズをどう捉えているかの把握について

イ 公共交通機関であるバスやタクシーを補完する選択肢としてコミュニティバスの同ガイドラインでの捉え方及び市の事業として民間事業者等に委託するなどの制度を検討する必要性について

ウ コミュニティバスを市民協働事業として助成制度を含めて検討する必要性について

### 4 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について

(1) こども政策アドバイザーの助言を得て実施した子育て・教育施策及び同アドバイザーを配置した具体的な効果について

(2) 幼児教育の重要性について

ア 幼児教育の重要性を指摘する知見に対する認識について

イ 教育効果の高い就学前の教育に関する計画を横須賀子ども未来プランに位置づけ、「幼児教育振興プログラム」として策定する必要性について

(3) 小児医療費の通院費助成について

ア 近隣他都市が小児医療費通院助成を小学校6年生までに拡充することによる優位性の喪失について

イ 子育て環境の満足度向上及び他都市との優位性確保のため、小児医療費通院助成の所得制限を撤廃し中学校卒業まで拡充する検討の必要性について

(4) 中学校給食について

ア 中学校給食のあり方の再検討に関する検討期間について

イ アンケート結果の分析・検討の時期及び方向性について

ウ 中学校 23 校でそれぞれ状況分析し、最適な方式を選択する組み合わせ方式を検討する必要性と市長部局と教育委員会での財政的な検討について

(5) 放課後児童対策について

ア 小学校での放課後子ども教室の必要性について

イ 小学校のわいわいスクールを学童クラブに移行することで、現在わいわいスクールを利用中の児童が移行先の学童クラブの定員数問題や保護者の経済事情により行き場を失うおそれに対する危惧について

ウ わいわいスクールやランドセル置き場の個別対処方法、または新たな放課後子ども教室など、全児童対策の今後のビジョンについて

エ 学力、体力の向上を取り入れた全児童対策として、教育委員会における放課後の子どもに関する検討状況について

オ 学校司書の資格や養成のあり方について

カ 学校司書の配置が拡大された放課後の学校図書館の活用について

キ 学校司書がいる日の放課後の学校図書館を活用し、学力向上を取り入れた新たな全児童対策の検討の必要性について

ク 小学校での放課後全児童対策が一番望ましく、できない理由を考えるよりどうすれば子どもたちのためになるか知恵を絞った放課後児童対策に対する意気込みについて

#### 4 「人口減少社会に対応したまちづくりを進める」について

##### (1) 市街地の空き家の活用について

ア 「住まい活用促進担当課」が所管する事業に対する具体的目標や計画の必要性について

イ 「子育てファミリー転入応援住宅バンク」に係る助成メニュー申請件数が伸びないことへの所見について

ウ 近隣他都市と比べて首都圏へのアクセスに大きな違いがない上、不動産価格が安く、若い世代が住宅を取得しやすい環境が整っているにもかかわらず、「住むまち」として認識されていない状況分析について

エ 国は空き家対策として「介護・福祉施設などへの用途転換などを進める」としており、高齢者が自宅に引きこもることなく元気に地域で活動できるコミュニティー拠点とともにデイサービス等の福祉的拠点として空き家を活用する必要性について

##### (2) 都市のコンパクト化について

ア ザ・タワー横須賀中央が下町エリアの地域活性化に及ぼした定住促進や地域経済などへの波及効果について

イ (仮称)中央こども園建設予定地の取得に関する市の財産評価委員会と国との見解の相違について

ウ (仮称)中央こども園予定地を高度利用した複合施設としない理由について

エ 中央エリアに必要な公共施設を民間施設の一部を借り上げ、行政サービスを複合化して提供できるPFIやPPPなどを

活用した新たな施設整備の手法を研究しながら対応する必要性について

オ 公共施設を再配置する上で、分野別実施計画の中で位置づける従来型の発想ではなく、そのエリアにどのような公共施設が必要で、それをどのように配置することが市民の利便性や行政の効率化を担保する最適な配置であるかを総合的に判断するグラウンド・デザインの欠落について

カ 公共施設適正配置は多目的な複合化で集約統合されていくことが望ましいと考えるが、横須賀中央エリアのまちづくりにおけるグラウンド・デザインへの基本的な考え方について

(3) 認知症初期集中支援チームについて

ア 認知症初期集中支援チームを市内4ブロックに配置するためには人材確保が課題であり、認知症専門医のサポート医養成研修受講を積極的に促すための補助金の創設や医療・介護専門職員の確保を図る必要性について

イ 「かもめネット」の稼働状況と「かもめネット」への認識について

ウ 「かもめネット」の導入に当たり、先行導入している他都市での課題に対する検討状況及び本市独自の課題とその対策について

(4) ビッグデータを活用した保健事業の効率化について

ア データヘルス計画実施後の目標値に対する進捗状況と医療費の適正化への効果について

イ 本市のジェネリック医薬品普及率の現状及びジェネリック医薬品推奨薬局制度の導入について

ウ 「がん対策加速化プラン」により追加された胃がん、肺がんの個別受診勧奨コールの導入及び子宮頸がんとその他のがんの個別受診勧奨コール対象年齢拡大の検討について

エ 検診受診率向上のため、個別受診勧奨コールの実施だけでなく、再勧奨リコールの実施の必要性について

(5) 障害者雇用の充実について

ア よこすか就労援助センターに配置した職場定着支援員による職場定着支援事業の効果について

イ 女性の就労機会の拡大とともに障害者の就労機会の拡大のため、好きな時に好きな場所で働くことができるクラウドソーシングの有効性について

ウ 「特例調整金・報奨金」の支給基準の引き下げを契機に在宅就労の障害者の働く機会拡大のため、本市においても企業とのマッチングを図る検討の必要性について

5 横須賀応援ふるさと納税について

- (1) 平成28年10月より寄付額に応じて発行されるポイントにより記念品を選べるポイント制度の導入で魅力アップが図られるが、一方で自治体間の税の奪い合いが加速される危惧をはらんでいるふるさと納税の今後のあり方に対する認識について